

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成28年 2月25日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ オオザキブンカレキシホゾンカイ
団体名 大崎文化歴史保存会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	「市民健康づくり」散策コース・マップ等作成
事業実施区域 (小学校区)	庄内小学校区
事業 実 施 内 容	2020年には、「開山200年祭」を迎える「大崎八十八か所遍路道」を岡山市民の健康づくりのために、「市民健康づくり」散策コースとして甦らせる。 そのために、歴史遺産を説明する案内板、道順を明示する順路案内板設置など。 そして、岡山市内に広報するために、高松公民館との共催で年2回、散策コースを歩く会を企画、実施。 12月13日(日)には、高松中学校の男子バレーボール部(1~2年生)中心にトレイルランを実施。1チーム3人で、4組構成し、3分毎にスタート。タイムレース。高松城址出発・ゴール(平道3Kと山道2Kの合計5Km)を優勝チームは48分30秒で完走。中学校の校長先生も参加いただき、表彰状授与。 それから、今年度の最重要課題「散策コース・マップ」を作成したので、このマップを十分に活用し、来年度から、岡山市民の健康づくりに貢献していきたい。

事業目的とその達成状況と効果	大崎地区は、古墳時代後期より栄え、奈良時代の「大崎廃寺跡」さらには、戦国時代の文英石仏（中でも、最大級の延命地藏）など歴史遺産が豊富である。 江戸時代末期に、大崎村の初代有松万助が、開拓した「大崎八十八か所遍路道」など数多くの歴史遺産が若い世代に伝えられていないし、近隣地区にも、あまり知られていない現状がある。 そこで、我々保存会は、これらの歴史遺産を保存するために、「大崎八十八か所遍路道」を岡山市民の健康づくりに貢献できるように、「市民健康づくり」散策コースとして甦らせる。 今年度、「散策コース」マップと案内板が完成したことで、保存活動充実のための大きな一歩となった。これからは、このマップを高松公民館、高松駅、その他の必要とされる場所に置き、広報活動に力を入れる。
企画などの工夫と情報公開	高松公民館の広報誌「まつかぜ」を最大限に活用させていただきたいと思います。 そして、公民館の館長や職員の方には負担になりますが、今まで通り、行事は、高松公民館と共催で実施していきたいと思います。 我々保存会の総会、学習会なども公民館の部屋を借りて開催しているし、それらの広報についても「高松公民館の広報誌」を利用させていただいております。 大崎町内会の会員には、今年度完成したマップを全戸配布しましたし、その都度の各種案内も36軒全戸に配布している。さらに、近隣地区（和井元、平山）の町内会長に「関心のある方に配布」するように依頼。 高松公民館と共同で作成したマップなので、公民館窓口に500部置き、高松中学校区の方々に広報している。そして、高松公民館のホームページには、「新着情報」としてマップを載せている。我々保存会の活動は、公民館との共催事業が多く、そのホームページに具体的な活動状況が載せられている。将来は、大崎文化歴史保存会のホームページを作成する予定ではあるが、高松公民館のホームページの方が多くの市民に親しまれていることは確実である。

次 年 度 計 画	「散策コース」マップが今年度完成したので、何と言っても、実際に「市民健康づくり」散策コースを歩いてもらうこと。そのために、4月と12月に「ウォーキング」の会を企画・実施する。 但し、案内係や役員の人員に限りがあるので、安全のため40～50名程度が精一杯となる。そこで、我々としても満足している「散策コース」マップを活用し、それぞれの人の都合に合わせて、散策してもらうようにPR活動を充実させる。 その際、大切なことは、「ウォーキングコース」の清掃・整備である。 例年、1月第4日曜日に実施している「遍路道清掃ボランティア」を広くPRし、参加者の増加を図る。 高松公民館との共催で、「健康づくり」ウォーキングの会を開催し、岡山市内に広報活動を展開したいと考えています。 すでに、岡山市東部の万富公民館から、平成28年11月に「健康づくり」ウォーキング会の案内予約が入っています。そこで、「大崎地区歴史遺産」案内ガイドの養成も今後の課題となりました。
事業実施者としての評価・感想など	今年度の最大の目標「市民健康づくり」散策コース」マップ作成の過程において、古墳の歴史に非常に詳しい専門家（ ）と親しくなれた。 和気氏は、他地域の「八十八か所遍路道」マップを作成した経験もあり、その知識や経験を生かして、我々保存会としても非常に満足できるマップが完成したと自負している。 GPS機器を利用し、「八十八か所遍路道」の各石仏の位置を一つずつ確認しながらマップを完成させた。従って、古墳や石仏に関心のある方にとっても、非常に正確なマップとなった。 また、大正8年に築かれた「大師堂」は、昭和50年に修理されたが、今年になり、遂に床が落下したため、今年度7月に、ボランティアを募り、床の作り直しを実施した。高松公民館の広報誌「まつかぜ」のPRにより、高松地区の他町内からも参加者（平山、原古才、小山から各1名）があり、非常に嬉しかった。少しずつではあるが、保存活動が広まっているように感じた。 つい先日、建国記念の日に数名の女性が「我々の作ったマップ」を持って、大崎地内を歩いているのに遭遇し、「この道で良いですか」と聞かれ、とても嬉しかったです。 2月23日（火）に高松公民館との共催で実施した「健康づくり」ウォーキングの参加者を見ると、庄内地区、生石地区そして、加茂地区からそれぞれ20名で合計60名でした。

■収 支 決 算 書

◆収 入

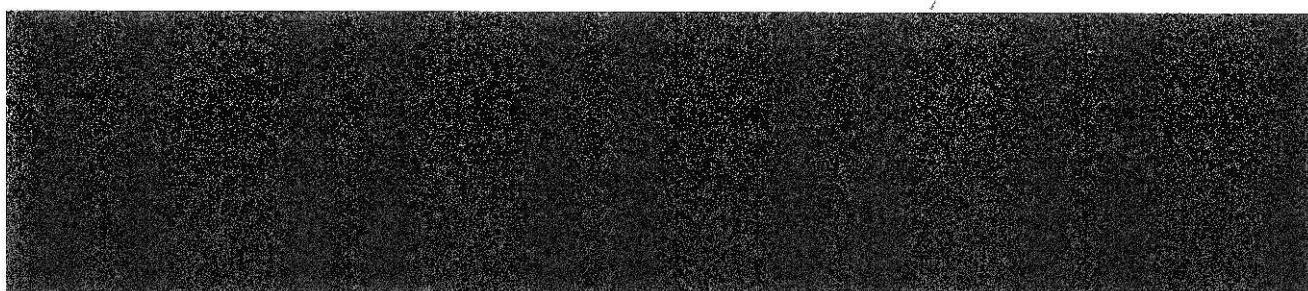
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	251200	251200	
負担金			
参加費			
寄付、他収入	62800	62800	
計	314000	314000	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	24000	3288	テープ、はさみ、マジック、セロテープ
食糧費		7356	サンドイッチ、ポカリ
印刷製本費	150000	254816	コース案内マップ作成 コピー代
通信運搬費			
原材料費	140000		
委託料		47480	案内看板等作成
保険料		1060	トレイルランニング実施のため
計	314000	314000	



■事業実施にあたっての協働の状況

[illegible]

■事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
平成27年4月4日	役員会
4月12日	大崎文化歴史保存会総会 遍路道の清掃、草刈と倒木処理
4月26日	「大崎八十八か所遍路道」ウォーキング実施(公民館と共催) ONIビジョンに取材依頼し、活動状況をテレビ放映 講師 [REDACTED] 50名参加(殆ど60歳以上の男女が参加) 集合写真を山陽新聞「読者のページ」に投稿
8月30日	大崎文化歴史保存会役員会並びに、「散策コース」マップ編集委員会。[REDACTED]と岡山市市民協働企画総務課、市民協働担当 [REDACTED]に参加要請。12月にトレイルランニング実施計画。
10月18日	「散策コース」マップ編集の現地調査と遍路道の清掃、倒木処理。
12月 6日	トレイルランニング実施直前の「散策コース」清掃と点検
12月13日	中学生対象「大崎八十八か所遍路道」トレイルランニング実施 (高松公民館と共催) 高松中学校男子バレーボール部員(1～2年生)全員参加
12月20日	役員会(反省会)
1月3日	岡山市区づくり推進事業助成申込み(地域活動部門)の件について役員会で決定

1月1日～	ONiビジョン、毎日正午～「もっと知りたい」で、大崎八十八か所遍路
1月10日	道の紹介放送(保存会会員の出演)
1月24日(日)	高松中学校区に呼びかけ、「へんろ道」清掃ボランティア実施
2月23日(火)	高松公民館主催「ウォーキング会」と共催で、大崎八十八か所遍路 道を歩く会」を開催(60名参加)